

「北日本新聞七月二十五日二十五面の
あの日の空の記事を読んで」

いな川小学校五年 林 直志

ぼくは、五年生になって自分の部屋をお父
さんと、お母さんに作ってもらいました。新
しい机といす、夜でも勉強できるように明る
いけい光灯も買ってもらいました。

そんな時に、ぼくの近所の方の新聞記事を
見つけました。戦争で学校が焼け、勉強ので
きるかんきょうでは、なかつたそうです。特

に教科書は、うら、表に印刷されて、読みに
くかつたそうです。また、食べるものや着る
服もなく、大切な家族を失われた方が多くお
られたことを知り、悲しくなりました。

ぼくは、今、毎日、大好きな学校にあたり
まえのように通っています。教科書は、カラ
ーの写真がたくさんあり、手紙ありがとうでも
良いです。一人に一さつあたり自分でじゆ業
で大事だと思った所には、線を引いたりして
勉強ができます。家に教科書を持ち帰り、ふ

りかえりをするのもできます。また、食事は、好きなものを好きなだけ食べる事ができます。食材にも、大変めぐまわっています。学校給食では、ぼくたちの体の成長を考えて、栄養バランスの良い食事がでて、みんな、毎日、給食をとっても楽しみにしています。それから、ぼくの服が小さくなったら、いつも新しい服を買ってもらえます。

ぼくは、家族にかまわれ、あたりまえのようにすごしています。でも、七十年前の今日八月一日には戦争がたくさんの方がなくなりました。とても、おそろしい事だと思っています。平和であるから、勉強をすることができ、未来がある。緑があるから地球がある。平和を守るために、戦争のおそろしさを知り、二度と戦争をくり返してはいけません。平和であることに感謝をして、これからみんな地球を守り、笑顔で元気にくらしていきたいです。